

I 概 要

1 沿 革

鹿児島大学農学部附属農場は、明治41年（1908）、勅令第68号によって創設された鹿児島高等農林学校の実験実習農場として設置された。その後、大正元年に種子島牧場、大正5年に唐湊果樹園、大正7年に指宿植物試験場が相次いで設置され、現在の陣容がほぼ整備された。昭和24年（1949）、法律150号国立大学設置法により鹿児島大学農学部附属農場となり、昭和43年には種子島牧場が入来町に移転し、入来牧場と改称されるなど幾多の変遷を経て現在に至っている。主な出来事は年譜に示したとおりである。

当場は、農場本部と学内農場農事部、学内農場畜産部、唐湊果樹園、指宿植物試験場および入来牧場の5付帯施設からなる分散型農場であり、それぞれの立地する地域の特性を活かし、特色ある教育・研究を教員、技術職員、事務員一体となって推進している施設である。農場実習は、機能の異なる5付帯施設において、畜産、果樹、普通作物、野菜、花卉、観葉植物および熱帯作物といった農業のほぼ全分野にわたって実施されている。また、果樹、熱帯作物、花卉、家畜の遺伝資源収集、JICAを通じた国際技術協力、地域農業に対する指導および公開講座や生産物の販売をはじめとする地域貢献等に取り組んでいる。

< 年 譜 >

明治41年3月(1908) 勅令第68号により鹿児島高等農林学校が創設され実験実習農場設置
 大正元年11月(1912) 附属農場種子島牧場設置
 大正5年7月(1916) 附属農場唐湊果樹園設置
 大正7年10月(1918) 附属農場指宿植物試験場設置
 昭和19年4月(1944) 鹿児島農林専門学校附属農場と改称
 昭和21年2月(1946) 附属農場伊佐総合実験場設置
 昭和24年5月(1949) 法律第150号国立大学設置法により鹿児島大学農学部附属農場設置
 昭和31年3月(1956) 附属農場伊佐総合実験場廃止
 昭和43年3月(1968) 附属農場種子島牧場廃止
 昭和43年4月(1968) 附属農場種子島牧場を薩摩郡入来町に移転し、附属農場入来牧場と改称
 昭和46年4月(1971) 附属農場事務長制設置
 昭和51年7月(1976) 附属農場指宿植物試験場研究宿泊棟竣工
 昭和56年1月(1981) 附属農場研究実習棟竣工
 昭和56年9月(1981) 附属農場唐湊果樹園研究実習棟竣工
 昭和58年3月(1983) 附属農場動物飼育棟竣工
 平成10年9月(1998) 附属農場の将来構想を策定
 平成11年4月(1999) 農場事務長制廃止および附属農場事務の農学部事務部への一元化
 平成18年4月(2007) 附属農場規則の制定および実習教育に関する要項の策定

2 施設の所在地と特色

1) 農場本部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

農場の管理運営と企画調整を担当する主事と農場運営（総務、会計、生産物販売等）を担当する事務部で構成された部門である。

2) 学内農場農事部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。約3haの用地の中に、水田、畑地、施設ハウスを備え、水稻、畑作物、野菜および花卉を中心とした教育実習と研究を行っている。

3) 学内農場畜産部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。ウシ、ブタ、ヤギ、ニワトリ、ウマを飼育する動物飼育棟を中心に、教育実習と研究を行っている。

4) 唐湊果樹園：〒890-0065 鹿児島市唐湊三丁目32番1号

大学キャンパスの西南部2kmに位置した傾斜地に設置された果樹専門の施設である。約7haの用地に、カンキツ、ビワ等の常緑果樹、モモ、カキ、クリ、スモモ、ウメ、ブルーベリーなどの落葉果樹が栽植され、それらを対象とした教育実習と研究を行っている。また、果樹の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

5) 指宿植物試験場：〒891-0402 指宿市十町1291

指宿市に設置されている施設（約4ha）である。温暖な気候と温泉熱利用を活かした熱帯・亜熱帯性の作物、野菜、

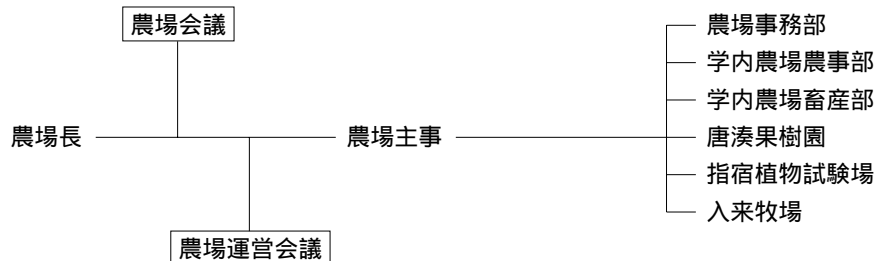
果樹、観賞植物など対象とした教育実習と研究を行っている。また、熱帯・亜熱帯性植物の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

6) 入来牧場：〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3

薩摩川内市と鹿児島市の境に位置する八重山の頂上近くに設置された牧場である。ウシ、ブタ、ヤギおよびウマが飼育されており、それらを対象として実習教育と研究を行っている。

3 組 織

1) 機構図



2) 職員配置

農場の専任教員は、教授1名、助教授1名、助手1名の3名で、これに農学部で選考された3名の兼務教員が配置されている。事務職員は、平成11年に農場事務長制が廃止され、それに伴って、すべて農学部事務部からの派遣となった。技術職員は現在18名であるが、昭和47年以降、10名が削減された。非常勤職員は、すべてパート職員である。

第1表 職員配置および人数

区 分	教 授	助教授	助 手	事務職員	技術職員	非常勤職員
農場長	(1)					
農場本部						
農場主事	1					
事務部				4		1
学内農場農事部	(1)				3	
学内農場畜産部		(1)				
唐湊果樹園		(1)			4	1
指宿植物試験場		1			4	1
入来牧場			1		7	1
合 計	1(2)	1(2)	1	4	18	4

()は、兼務教員

3) 職員名簿 (平成18年4月1日現在)

農場長 (兼務)	教 授	坂田 祐介 (観賞園芸学研究室)
主 事	教 授	黒田 治之
(学内農場農事部)		
主任 (兼務)	教 授	箱山 晋 (熱帯作物学研究室)
	技術専門職員	松元 里志
	技術職員	福留 弘康
	技術職員	田浦 一成
(学内農場畜産部)		
主任 (兼務)	助教授	高山 耕二 (家畜管理学研究室)
(唐湊果樹園)		
主任 (兼務)	助教授	山本 雅史 (果樹園芸学研究室)
	技術専門職員	川口 昭二
	技術職員	野村 哲也
	技術職員	寺本 玲香
	技術職員	中野 八伯
	短時間勤務職員	堀内由美子

概 要

(指宿植物試験場)

主任（専任）	助教授	遠城 道雄
	技術専門職員	長野 幸男
	技術職員	木山 孝茂
	技術職員	谷村 音樹
	技術職員	勘米良祥多
	短時間勤務職員	岩下 愛

(入来牧場)

主任（専任）	助 手	伊村 嘉美
	技術専門職員	花田 博之
	技術専門職員	内村 利美
	技術専門職員	片平 清美
	技術職員	廣瀬 潤
	技術職員	西谷 篤
	技術職員	龍野 巳代
	技術職員	城戸 麻里
	短時間勤務職員	下竹原さおり

(事務部)

総務係	係 長	八汐 一博
	短時間勤務職員	尾前 純子
管理係	係 長	竹ノ内昌代
業務係	係 長	東條 秋男
	係 員	金子 新一

4) 協力教員

教 授 佐々木 修 (生物生産学科作物学研究室)
 教 授 佐藤 宗治 (生物生産学科植物育種学研究室)
 助教授 一谷 勝之 (生物生産学科植物育種学研究室)
 教 授 富永 茂人 (生物生産学科果樹園芸学研究室)
 教 授 久保 達也 (生物生産学科果樹園芸学研究室)
 教 授 坂田 祐介 (生物生産学科観賞園芸学研究室)
 助教授 橋本 文雄 (生物生産学科観賞園芸学研究室)
 助 手 清水 圭一 (生物生産学科観賞園芸学研究室)
 助教授 津田 勝男 (生物生産学科害虫学研究室)
 教 授 青木 孝良 (生物資源化学科食品化学研究室)
 助教授 石黒 悦爾 (生物環境学科環境情報システム学研究室)
 教 授 田浦 悟 (フロンティアサイエンス研究推進センター)

4 土地および建物

農場の所有する土地および建物の面積を第2表と第3表に示した(各施設の見取り図は)。なお、指宿植物試験場の水田については、学内農場農事部における水稻実習との重複を回避するために、今年度から水稻実習を取りやめ休耕田とした。

第2表 施設毎の土地面積

単位：m²

区 分	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場	計
水田	13,960	0	0	0	13,960
休耕田	0	0	10,777	0	10,777
畑 (含む採草地)	6,706	6,850	10,436	980,000	1,003,992
果樹園	0	42,800	3,994	0	31,444
放牧地	0	0	0	448,440	448,440
温室	600	204	1,550	0	2,354
ビニールハウス	282	3,520	5,350	0	9,182
建物敷地その他	10,442	19,709	7,615	50,011	102,697
合 計	31,990	72,683	39,722	1,478,451	1,622,846

第3表 施設毎の建物面積

＜本部・学内農場農事部・畜産部＞			＜唐湊果樹園＞			単位：㎡
建物名称	構 造	面 積	建物名称	構 造	面 積	
研究実習棟	RC2	880	研究実習棟	RC2	807	
堆肥舎	RC1	91	温室	S1	204	
動物飼育棟 A	R1	677	燃料庫	B1	4	
動物飼育棟 B	RC2	159				
用土リサイクル施設	S1	77				
合 計		1,884	合 計		1,015	

＜指宿植物試験場＞			＜入来牧場＞			単位：㎡
建物名称	構 造	面 積	建物名称	構 造	面 積	
研究宿泊棟	RC3	820	管理棟	RC2	659	
収納庫	R1	16	畜舎棟	RC2	1,910	
物置	w1	35	燃料庫	CB1	6	
堆肥舎	B1	30	農機具庫	S1	298	
収納舎	w1	93	避難牛舎	CB1	88	
農具庫・倉庫	B1	119	(44×2棟)			
資材倉庫	w1	39	避難牛舎	B1	210	
便所	RC1	15	(42×5棟)			
植物温室	R1	137	物置	B1	14	
果樹温室	R1	208	(2×7棟)			
花卉温室	R1	312	薬液タンク庫	CB1	3	
蔬菜温室	R1	330				
植物温室	R1	210				
合 計		2,364	合 計		3,188	

5 農機具および車両

農場で現有している農機具および車両の一覧表を第4表に示した。本年度に新規購入した農機具および車両は第6表に示した。

第4表 施設毎の農機具および車両

施 設 名	農機具名及び車両	メーカー・型式	用途	購入年月
学内農場農事部	トラクター	ヤンマー US-36	農耕用	H11.12
	乗用田植機	ヤンマー PE-IX.S	"	H16. 6
	耕 転 機	ヤンマー	"	H 2. 3
	"	ヤンマー YA70FA	"	H 8. 7
	脱 穀 機	ヤンマー YAPKA6DE	"	H 2.10
	籾すり機	ロータリーハラ RHS400A	"	H10.10
	マニユアスプレッター	デリカ DAM-1530S	"	H 2. 3
	乾 燥 機	ヤンマー YCD-21FX3	"	H 8. 3
	ヘイベラー	スター THB1050	"	H 9. 3
	中型チップパー	東興 71020	"	H12. 6
	運 搬 車	ヤンマー VP8GD	"	H 9. 9
	"	ヤンマー HFG182PPC	"	H12. 2
	タマネギ移植機	ヤンマー PM2-D24	"	H17.11
	コンバイン	ヤンマー GC323VXJ	"	H18. 3
唐湊果樹園	貨物自動車	いすゞダンプ PB-NKR81AN	輸送用	H16.11
	ミニ油圧ショベル	コマツ PC25-1	土木用	H 8. 3
	乗用型ロータリーモア	ヤンマー SRM1010VH	農耕用	H 9. 6
	トラクター	ヤンマー KE40ASZ	"	H10. 3
	ローダー	ボブキャット 453型	"	H11. 6
	ブレードキャスター	タカキタ BS-521SSY	"	H13. 2
	運 搬 車	ヤンマー FG183SD4WD	"	H10. 3
	"	ヤンマー FG1835D4WD	"	H13. 3
	"	ヤンマー MOG1500LD	"	H15. 3
	草刈機	筑水 草刈機まさお220	"	H17.12
指宿植物試験場	乗 用 車	トヨタカローラワゴン AE100G	乗 用	H 5.11
	普通貨物自動車	マツダ タイタンダッシュ	輸送用	H17.12

概 要

	トラクター	三菱 MT2201 DVSN	農耕用	S58.11
	"	イセキ TU-185FUWX	"	H 1. 3
	運 搬 車	イセキ SL375DSE	"	H 8. 2
	" 2台	イセキ SL380DSE	"	H 9. 3
	"	イセキ AM61L	"	H18. 3
	耕 転 機	イセキ KC100FD	"	H 9. 2
	乾 燥 機	金子農機 BBF-202-NSP	"	H13. 5
	マルチロータリー	イセキ RAY1207	"	H18. 3
	スキッドステアローダー	TCM	"	H18. 3
入 来 牧 場	乗 用 車	スズキカルタス E-AA44S	乗 用	H 8. 2
	貨物自動車	トヨタダイナ KK-XZU421	輸送用	H12. 9
	"	トヨタダイナ KK-XZU400A	"	H16. 2
	"	マツダブローニー Z-SDEAT	"	H 7. 8
	トラクター	ジョンディア JD-6200DPMSGH	農耕用	H12. 3
	"	ジョンディア JD-6215	"	H15. 8
	"	フォード 7840型	"	H 6. 3
	"	ジョンディア JD-6410	"	H13. 2
	マニアスブレッダー	ジョンディア JD-4	"	H 7. 3
	"	ヤンマー	"	H17. 7
	ロールベアラ	ジョンディア JD-570	"	H12.10
	テッドレーキ	ヤンマー	"	H 5.10
	フロントローダー	日本ニスホーランド LAS7840	"	H 7. 3
	"	ジョンディア JD-851PC	"	H15. 8
	クレーン	ユニック UR053	土木用	H10. 2
	トレーラー	スター HD9S	"	H10. 2
	ジャイロレーキ	ヤンマー GRY6501H	農耕用	H18. 3